



みんなで減量、経費も削減

環境生活課 ごみ減量推進係 ☎(232)2114

「指定ごみ袋制」で、ごみ処理を有料化しています。

ごみ処理経費をみんなで負担

増え続けるごみを減らし、資源のリサイクルを進めるため、平成6年から「ごみ処理の有料化」を導入しました。これはごみの量に応じて、ごみ処理経費の一部を公平に負担してもらおうためのものです。

ごみ袋有料化の効果

ごみ袋の有料化で、ごみの量に応じた負担が生じます。このことで、



ごみステーションから集められた資源ごみ



資源ごみを種類ごとに分別

ごみの処理に費用がかかると意識するようになり、ごみの分別・減量、リサイクルの促進につながると期待されます。

ごみ問題は、私たちにとって最も身近な環境問題です。ごみになりにくい商品を選び、ごみを出さないよう工夫するなど、毎日の生活からエコを始めませんか。

廃品回収によるリサイクル奨励金や生ごみ処理容器への補助などがありますので、ぜひご利用ください。



すまいの再建支援を行います

熊本地震被災者生活再建対策室 ☎080(8594)4417

平成28年熊本地震で住居が被災した世帯を対象に、次の4つの支援事業を行います。

支援事業

1 自宅再建利子助成

(自宅再建に関するローンの利子の一部を助成)

2 リバースモーゲージ利子助成

(リバースモーゲージ型住宅ローンの利子の一部を助成)

3 民間賃貸住宅入居支援助成

(アパートなどを再建先とする場合の初期費用を一律20万円助成)

4 転居費用助成

(恒久的な住居へ転居する際の費用を一律10万円助成)

対象者

次のいずれかに該当する世帯
・応急仮設住宅(建設型仮設住宅、借上型仮設住宅)に入居していた世帯
・全壊または大規模半壊のり災証明書

書の交付を受けた世帯
・半壊のり災証明書の交付を受け、その住宅を解体した世帯
■注意事項 ①については収入(所得)要件があります。また、申請

期間は再建先への転居後になります。

申請期限

次のA・Bのうち先に到来する日
A 転居日から6カ月経過する日
B 平成32年2月29日

※ただし、①②については、平成29年11月2日までに転居を完了した人は、5月1日(火)までに申請してください。

受付場所

役場2階 中会議室

受付時間

午前9時～午後5時

(ただし、正午～午後1時を除く)

■その他 申請に必要な書類がありますので、期限内に余裕をもってご相談ください。



雨水タンク・雨水浸透柵の設置費用の一部補助

上水道の節水と地下水量保全のため、雨水タンクの設置費と、都市型水害の軽減と地下水のかん養による生活環境保全のため、雨水浸透柵の設置費を補助しています。

雨水タンク設置費補助金

■交付対象者

町内に住宅用家屋を所有し、居住する一定の要件に当てはまる人

■交付対象

- ・有効貯水量50ℓ以上
- ・5年間以上の使用に耐えられる構造と材質
- ・散水などを行う機能がある
- ・未使用のもの
- ・当該年度内に購入したもの

※住宅用家屋1棟につき1基まで

■補助額

- ・有効貯水量200ℓ未満 (上限) 2万4千円
- ・有効貯水量200ℓ以上 (上限) 3万5千円

※購入額の2分の1が上の金額に満たない場合は千円未満の端数を切り捨てた額

雨水浸透柵設置費補助金

■交付対象者

- ・町内の住宅などに雨水浸透柵を設置する土地所有者か使用者(設置前に申請が必要)
- ・雨水浸透柵が設置された新築住宅を購入した住宅購入者(購入後すぐに申請が必要)

■交付対象

- ・雨どいからの接続とすること(雨水以外の流入があれば交付対象外)
- ・雨水浸透柵標準敷設構造図に適合すること

■補助額

1基当たり1万6千円
(上限: 4基6万4千円)

■申し込み・問い合わせ

環境生活課 環境係 ☎(232)2114

1袋当たりのごみ処理経費



※ごみ処理経費は、菊池環境保全組合のごみ処理経費とごみ収集経費の合計

※住民負担額は、指定ごみ袋の販売代金から指定ごみ袋の作製原価と販売手数料を差し引いた額

1kg当たりのごみ処理経費

	住民負担額	町負担額	合計
燃やすごみ(大)	1.9円	24.8円	26.7円
資源ごみ(大)	4.9円	96.3円	101.2円
不燃・埋立ごみ(大)	2.8円	104.8円	107.6円



1袋当たりの処理にこんなに費用がかかっているんだ。リサイクルや詰め替えの商品を買ったりしてエコに取り組むことが必要なんだね!